

歯科

歯科医師 小野 万記子

<当科の紹介>

当科は周術期口腔管理を行う歯科として 2019 年 4 月に開設され、2024 年で 6 年目となります。診療体制は、昨年に引き続き、常勤 1 名、非常勤 3 名で診療にあたっています。小野とともに水曜日は岡山大学病院医療支援歯科治療部の曾我歯科医師、吉富歯科医師、月火金は近森病院勤務以外にも訪問診療を行っている笠井歯科医師による診察を行っています。

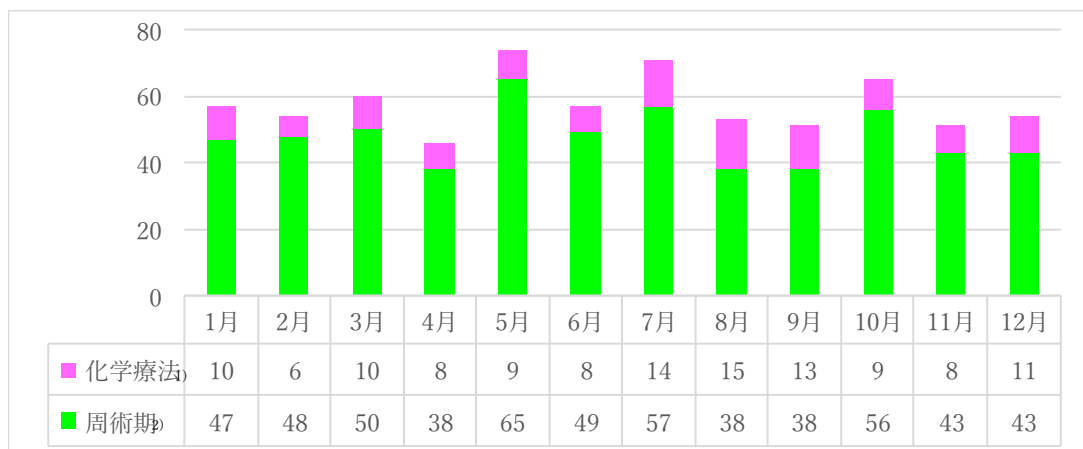
診療の 8 割は病棟往診となっており、周術期等（術前術後、化学療法中）口腔管理を行っています。外来においては、手術前、化学療法前の患者を診察し、必要に応じ、地域の歯科医院の先生方に依頼し歯科治療を行っていただくことにより、期間的なこともありますが、できる範囲で患者の口腔環境を整え、手術、化学療法に臨んでいただいています。そして手術入院中は当院で口腔管理を行い、退院後は引き続きかかりつけ歯科にて口腔管理を継続していただいています。今年度、心臓血管外科、循環器内科の先生方にご協力いただき、感染性心内膜炎のリスク患者の歯科治療における術前抗菌薬投与の情報提供カードを作成し、注意喚起が必要な患者に当院よりこのカードのお渡しを始めました。また、化学療法中の患者の口腔管理においては、入院中は病室往診にて、外来時には歯科診療室や化学療法センターにて化学療法の副作用である有害事象（口腔粘膜炎症等）のフォローアップを当院歯科で行うとともに、歯科治療に関しては地域の歯科医院での治療継続を依頼しています。

また、看護補助者として各病棟に配属された 9 名の歯科衛生士が病棟の業務を兼務しながら、上記診療のサポートに加え、経管栄養中他セルフケアが困難な入院患者に対する専門的口腔ケアを行い、口腔衛生管理の強化を図っています。

<診療実績>

当院歯科が対象とする患者はすべて当院医科からの院内紹介患者です。

下記の図が 2024 年の周術期・化学療法の患者受入件数です。



- 1) 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、乳腺外科からの化学療法中の口腔管理依頼
- 2) 心臓血管外科・循環器内科の心血管疾患手術、かかりつけ歯科のない方の外科のがん摘出術、および整形外科の人工関節置換術における周術期口腔管理依頼

9割以上は周術期、化学療法 of 患者の診察ですが、それ以外にも入院患者の感染性疾患に対する口腔内精査・口腔衛生管理、ビスフォスフォネート製剤投与前の口腔内精査、入院中の緊急性の高い歯科治療（動揺歯の抜歯、義歯調整等）、応急処置を行っています。一般歯科治療に関しては、急性期病院の特性上、また当科が周術期等の病院医療を支えることに特化した歯科であるため、退院後地域の歯科医院での治療をお願いしています。

以下の表は、過去5年間の延べ患者数、周術期等口腔機能管理計画策定件数（新たに管理を開始した件数）となります。2023年から延べ患者数が減少していますが、これは化学療法中の患者の診察を、口腔粘膜炎を起こしやすいレジメン、有害事象の有無、口腔清掃状態により診察の間隔の強弱をつけたことに因ります。このように介入が必要な患者を適したタイミングで診察することにより、診療報酬自体は2022年と比較し7.5%増えています。またそれは新規介入件数が増加したことも要因と考えられます。

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
延べ患者数	3,061	3,573	3,661	3,488	3,251
周術期等口腔機能管理計画策定件数	564	657	617	672	693

< 歯科のこれから >

2019年に診療科としてスタートして以来、口腔管理の重要性も認知され、多くの院内紹介があり、患者数も増えている中、たくさんのスタッフに支えられて様々な院内の医療者、患者双方のニーズと、病院と地域の歯科医院との関わりをつなぐ担い手としてこれからも邁進していきます。